

目 次

総説	
動物心理・行動・生態学から探るウマの社会性……………	リングホーファー萌奈美…………… 1
馬事往来	
マルシュロレーヌのルーツ……………	有吉正徳……………13
ウマはどこから来てどこに向かうのか	
～現在の家畜馬はロシア南部のボルガ・ドン地域に起源をもつ～……………	戸崎晃明……………18
尾形藤吉先生と日本競馬……………	小檜山悟……………22
会員通信	
学生主体の在来馬取材：北海道和種馬の活用ととりまく人々……………	小出明里ほか……………28
山口洋史の騎馬像巡り③④……………	山口洋史……………33
お知らせ……………	……………35
協賛団体・賛助会員名簿……………	……………36
編集後記	

Hippophile No. 91

- 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長	楠瀬 良 (日本装蹄協会)
編 集 委 員	阿部 憲二 (全国乗馬倶楽部振興協会)
	戸崎 晃明 (競走馬理化学研究所)
	荒川由紀子 (農林水産省)
	永井富美子 (エディター)
	有吉 正徳 (競馬ライター)
	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	北野あづさ (日本馬術連盟)
	古林 英一 (北海学園大学)
	木村李花子 (東京農業大学)
	三浦 暁子 (エッセイスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)
	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 高志 (JRA 競走馬総合研究所)
	山下 大輔 (日本馬事協会)
	末崎 真澄 (馬の博物館)
	山本 真広 (地方競馬全国協会)
	関 正喜 (ジャーナリスト)

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science